

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 23 日

事務事業名		真壁保健センター管理運営事業						事業区分		担当	
								新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	010203000315
政策体系	政策体系上の位置付け								所属課	040401	
	総合計画の施策名		0102	健康づくりの推進						健康推進課	
	政策名		01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
	施策名		02	健康づくりの推進						グループ	管理
	手段名		03	③母子支援体制の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し（平成20年度～）			
	01	04	01	01	04	00	真壁保健センター管理事業	➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠	地域保健法・桜川市保健センターの設置及び管理に関する条例										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 真壁保健センターは昭和56年に、地域保健法第18条第2項により設置された。市民に対し健康相談、保健指導及び健康診査等、地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設である。当事業は、当該施設を安全かつ快適に使用できるよう維持管理を行うものである。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・当該施設での、総合相談・乳幼児健診等事業の実施 ・維持管理のための業務委託 ・委託業務等の立ち合い・管理業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
・当該施設での、総合相談・乳幼児健診等事業の実施 ・維持管理のための業務委託 ・委託業務等の立ち合い・管理業務		業務委託件数	件	5.00	5.00	3.00	3.00	3.00	
		立会い・管理業務回数	回	57.00	35.00	15.00	15.00	15.00	
		施設開放日	日	60.00	20.00	10.00	10.00	10.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
市民		桜川市人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
適切な維持管理により、安心して健康相談・保健指導及び健康診査等を受けていただくことで、疾病の予防や健康保持及び増進に繋げる。		述べ使用人数	人	1,507.00	240.00	100.00	100.00	100.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)		期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
		県支出金	千円	0	0	0		0
		地方債	千円	0	0	0		0
		使用料・手数料	千円	0	0	0		0
		その他	千円	0	0	0		0
		一般財源	千円	2,919	2,640	2,631		0
		事業費計 (A)	千円	2,919	2,640	2,631		0
	正規職員従事人数	人		2.00人	2.00人	2.00人		
02年度事業費 実績 (千円)							03年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	10 需用費		766			10 需用費	810	
	11 役務費		45			11 役務費	56	
	12 委託料		722			12 委託料	709	
	13 使用料及び賃借料		1,049			13 使用料及び賃借料	1,048	
	14 工事請負費		50			18 負担金補助及び交付金	8	
	18 負担金補助及び交付金		8					
合 計					2,640		合 計	2,631

事務事業名	真壁保健センター管理運営事業	事務事業No.	10203000315	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和56年に、真壁地区の地域保健活動の拠点施設として当該施設を設置した。当初は管理者が常駐していたが、平成20年7月1日協議の結果、指定管理者制度から現在の直営管理へと移行した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の老朽化による設備の故障などが見受けられる。 令和2年度に実施された公共施設個別施設設計画策定に伴う各課打合せにて、利用状況登録状況等の客観的な指標により、解体の方向で進めたいという意見が出ている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) ☒ 結びついている 地域保健に必要な事業を行うことで、疾病の予防、健康の増進を図っており、市民の健康に対する意識の向上に繋がっている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) ☒ 妥当である 市民の健康保持のため健診や健康相談、乳幼児への育児相談や健診等を実施するには、施設の適正な管理が必要である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) ☒ 向上余地がある 老朽化等により、施設の使用頻度が低下しており、施設の維持管理について見直す必要がある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) ☒ 影響無 住民健診、乳幼児健診、育児相談等を岩瀬福祉センター等の他施設で実施するなど、廃止した場合の代替案がある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 住民健診、乳幼児健診、育児相談等を岩瀬福祉センター等の他施設で実施するなど、廃止した場合の代替案がある。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) ☒ 削減余地がない 維持するための最低限の経費であり削減はできない。人件費についても、施設の維持管理のための最小限の人員であり、削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) ☒ 公正・公平である 岩瀬・大和地区でもそれぞれ検診を行う施設があり、真壁地区については当該施設の利用が適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	職員が常駐していないため施設管理に不安があり、常に保守点検等が必要である。また、今後の施設利用についても見直しを行う必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
☐ 終了 ☒ 継続 ☒ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 職員が常駐していないため施設管理に不安があり、常に保守点検等が必要である。また、今後の施設利用についても見直しを行う必要がある。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果		⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐